

# 入野小学校 校長室だより

2014. 9. 12(金) No. 17 文責：芝

## 中秋の名月だけでなく

水曜日の朝のことです。

「校長先生、昨日(9日)の月が一番きれいやった。」

と、中学年の男の子が声をかけてくれましたので、私も校長室の窓越しに、

「そうやね。スーパームーンやったがとね。」

と、返したことでした。

皆さんは、8日(月)の中秋の名月をご覧になりましたか。その翌日9日(火)も「スーパームーン」という、地球と月が最接近するために明るく大きな月だったそうです。先ほどの男の子は、そのことも含めて私に伝えてくれたのだと思います。

と、言いますのは、8日の朝会で「今夜の月が中秋の名月といわれる月だ」という話をしました。ですが、「明日の月はスーパームーン」には触れませんでした。その時点では「スーパームーン」という言葉すら知らなかったからです。知ったのは、8日の夕方。男の子は、「校長先生はスーパームーンを知らないんじゃないかな」と感じ取って話してくれたのではないのでしょうか。

8日(月)の朝会の時には「お月見をする人」に手を挙げた人は一人だけ。全体的に全く関心がないような雰囲気でしたが、少し興味を向けた人が増えたのかな、という事も感じられ、少し嬉しさが増えました。

この時期は統計的に月がきれいに見えることが少ないようですが、今年はきれいでした。私は中秋の名月もスーパームーンも、缶ビール片手にしっかりと見ました。次のスーパームーンは、来年の9月28日とのことです。今回見逃した方、これはお薦めです。ぜひ!

## じいちゃん、おらんね

最近お亡くなりになったご高齢の男性のご家族の方から、学校にお電話をいただきました。その電話を受けた職員から伝え聞いた話をご紹介します。

- そのご高齢の男の方と、登下校している子どもたちに交流があった。
- 何年も続いていた。その男の方は、子どもたちに会って話をするのを楽しみにしていて、登下校する時間に合わせて家から出て待っていた。
- その方が入院していた時、子どもたちは家の前を「じいちゃん、おらんね」と話しながら通っていた。
- 亡くなったあと、家の前で両手を合わせる子どもたちがいた。

※文章にすると伝えきれないという思いから箇条書きにしました。ご容赦ください。

とても心温まるお話です。『感動した』というような、ありきたりの言葉を使いたくなくて、他の言葉を探していました。

長く続いた交流ですから、いいことばかりではなかったと思います。「じいちゃんにつかまったら長くなる」というようなことも言っていたようです。ですが、全てを受け入れて子どもたちと交流して下さった、そのことが子どもたちの成長に大きく影響しただろうと思います。

「長い間子どもたちと交流して下さり、ありがとうございました。手を合わせる子どもたちに育てて下さって、ありがとうございました。これからも、子どもたちの成長を見守ってください。」

この言葉を天国のじいちゃんに送ります。